

潰瘍性大腸炎に合併する癌は、「胃と腸」誌でも約10年前に1度「潰瘍性大腸炎と大腸癌」という主題で特集(21巻9号)が組まれている。その号は、わが国の潰瘍性大腸炎に合併した癌の実態を明らかにすることを主目的として企画されており、ほぼその目的を達成しているように思う。

本特集号の表題は「colitic cancer—微細診断をめざして」である。つまり、わが国でも潰瘍性大腸炎長期経過例の増加に伴い、合併癌症例の増加が予想かつ懸念されている状況にあり、この合併癌をいかに早期の段階で発見するか、その形態診断学体系の確立をめざして本号が編集されたわけである。

潰瘍性大腸炎合併癌の早期診断のためには、克服しなければならない臨床・病理学的課題が存在する。それは潰瘍性大腸炎合併癌に影のように寄り添っている dysplasia の問題である。臨床側の課題は dysplasia の X 線・内視鏡診断であり、病理側の課題は今なお枠付けの困難な病変とされている dysplasia の明確な定義と

病理診断である。本号ではこれらの問題を中心に、合併腫瘍の微細診断が論じられている。

掲載された3つの主題論文はいずれも力作で、7つの主題症例も貴重な報告であり、上述の課題克服のための1つの指標を与えているように思う。しかし、欧米に比べて症例数ははるかに少ないこともあって、本号がめざした早期診断学体系の確立にはまだ道遠しの感もないわけではないが、本号が早期診断学確立に向けての一里塚になっていると1人でも多くの読者が感じていただければ幸いである。

最後に、潰瘍性大腸炎に合併する癌には、理論上大別して潰瘍性大腸炎を母地として発生した癌と潰瘍性大腸炎に通常の癌が偶然に合併したものの2つの型が考えられるが、今後形態学的手法のみでなく分子生物学的手法を用いた研究により、両者の区別が明確にできる日が来ることを病理の立場からは切に期待している。

胃と腸

5月号(第30巻・第6号) 予告

発売予定 5月25日
定 価 2,060円(税込)

主題／粘膜下腫瘍の形態を示した胃癌

序 説	粘膜下腫瘍の形態を示した胃癌……………国立がんセンター東病院・内科	吉 田 茂 昭
主 題	粘膜下腫瘍様形態を示す胃癌の臨床病理学的特徴……………大阪成人病センター・病理	河田佳代子・他
	粘膜下腫瘍の形態を示した胃癌の X 線診断……………藤田保衛大・内科	中野 浩・他
	粘膜下腫瘍の形態を示した胃癌の X 線診断……………癌研・内科	武本 憲重・他
	粘膜下腫瘍の形態を示した胃癌の内視鏡診断……………東京女子医大・消内	光永 篤・他
	粘膜下腫瘍の形態を示した胃癌の内視鏡診断……………仙台市医療センター・消内	長南 明道・他
	粘膜下腫瘍の形態を示した胃癌の超音波内視鏡診断……………愛知県がんセンター・消内	中村 常哉・他
主題研究	胃リンパ球浸潤性髄様癌の肉眼形態学的特異性……………金沢大がん研・外科	源 利成・他
主題症例	粘膜下腫瘍の形態を示した胃高分化腺癌の1例……………東海大・2外	松永 元里・他
	粘膜下腫瘍の形態を示した進行胃癌の1例……………東京医大・4内	三坂 亮一・他
	粘膜下腫瘍様形態を示した早期胃腸癌の1例……………新潟大・1外	数崎 裕・他
	粘膜下腫瘍と臨床的に診断された小さな胃癌の1例……………小山消化器内科	小山 洋・他
	粘膜下腫瘍様形態を示した胃粘膜内印環細胞癌の1例……………新潟大・3内	望月 剛・他

胃と腸 (第30巻 第5号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

販売部直通 (03) 3817-5659

1995年4月25日発行(毎月25日発行)

1部定価2,060円(本体2,000円)(配送料124円)

1995年年きめ予約購読料28,000円(本体27,184円)

(増刊号4,120円を含む13冊)(送料弊社負担)

FAX (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株) ☎(03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎(03) 3814-5771

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1995, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

• **R** <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

• 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。

(担当)小松原・竹中・江口・長谷川